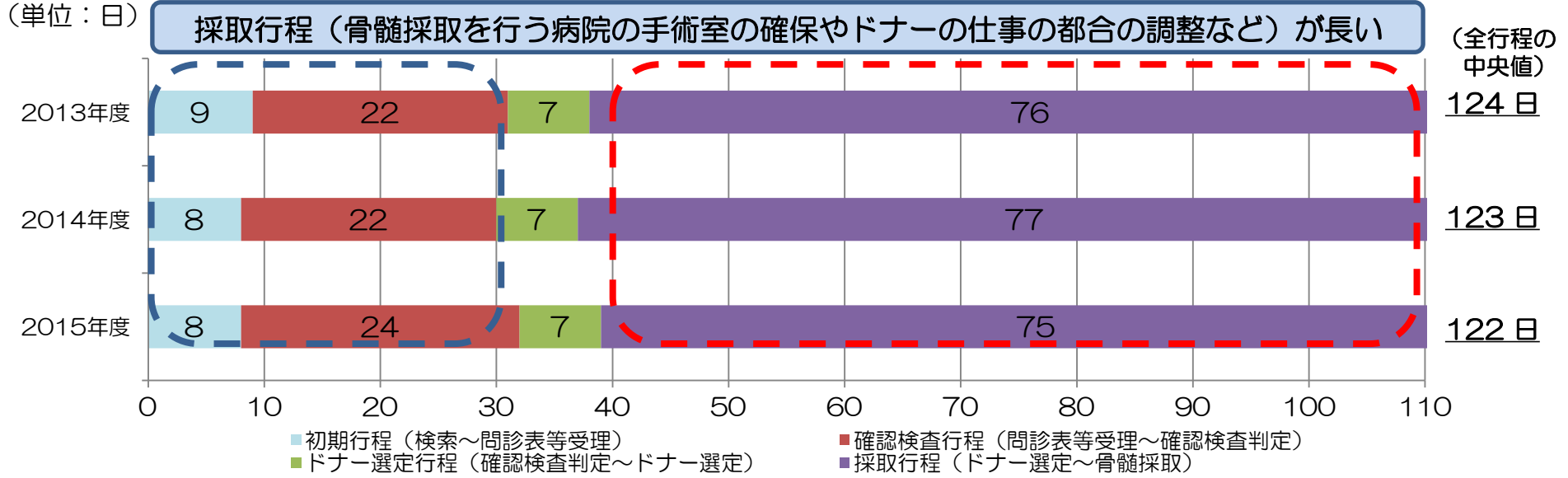


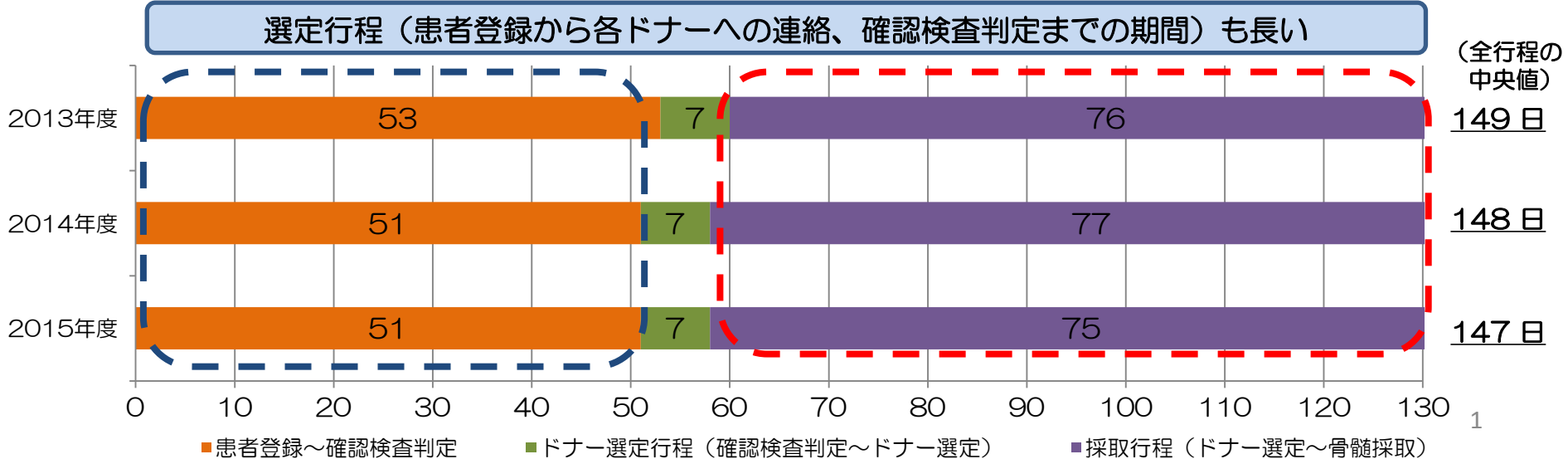
骨髄バンクドナーコーディネート開始人数増加の 影響についてのトライアル事業について

骨髄・末梢血幹細胞移植におけるコーディネート期間中央値の推移

(1) ドナー開始～採取にいたるまでの期間 (ドナー側からみたコーディネート行程)

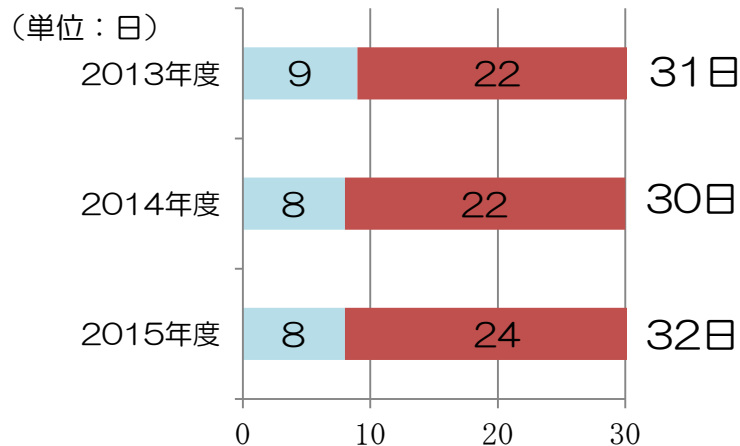


(2) 患者登録～移植にいたるまでの期間 (患者側からみたコーディネート行程)

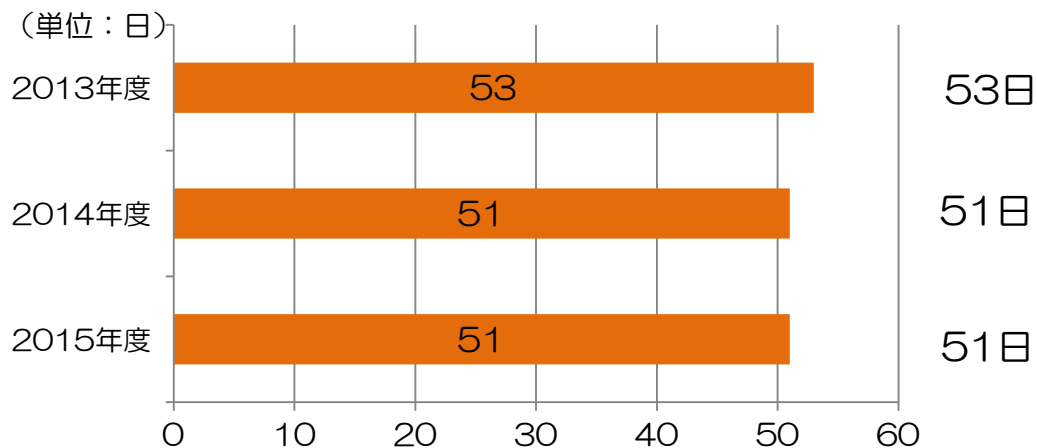


ドナー及び患者に要したコーディネート期間中央値の比較

(1) ドナー開始～確認検査判定にいたるまでの期間 (ドナー側からみたコーディネート行程)



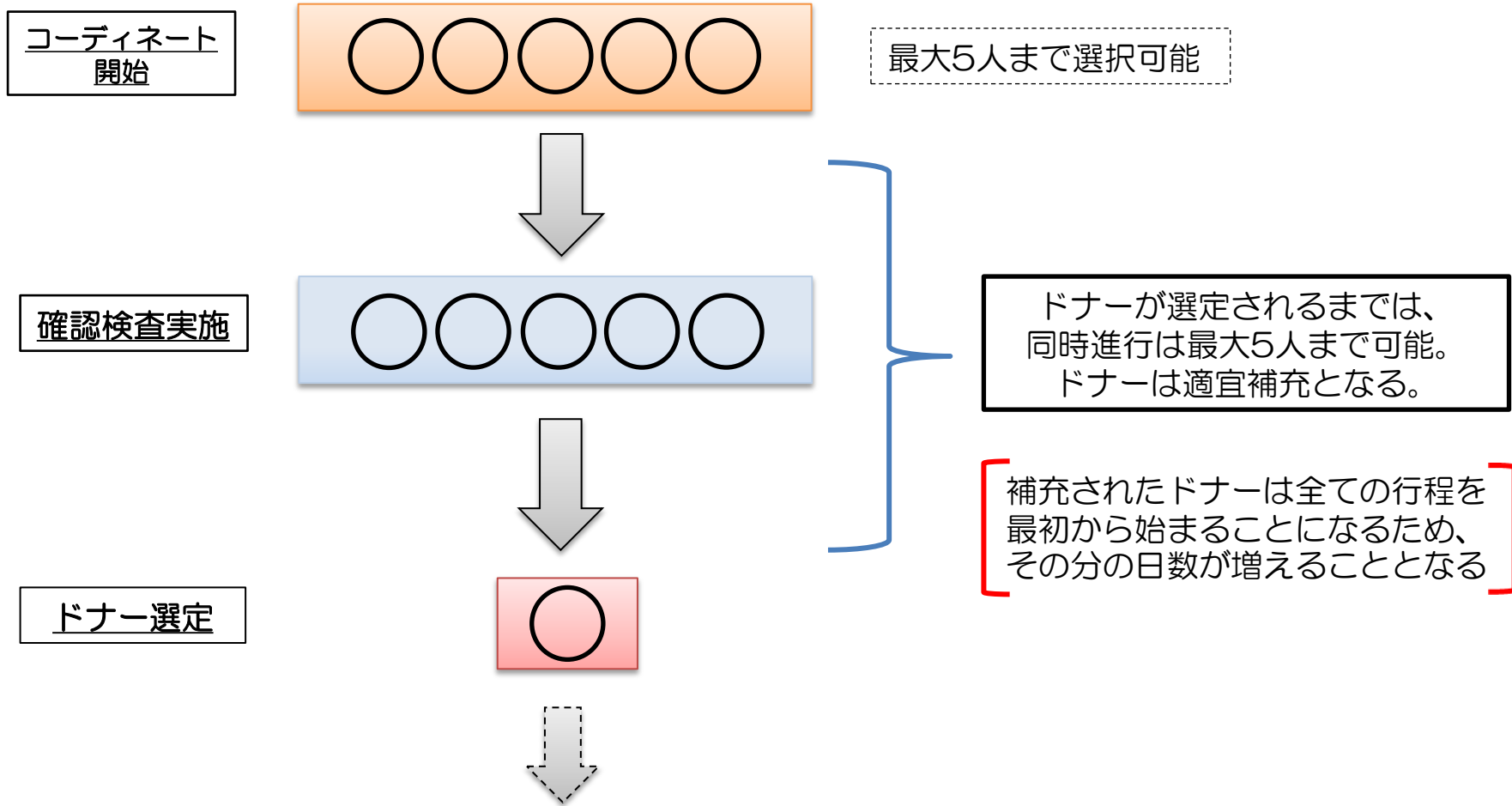
(2) 患者登録～確認検査判定にいたるまでの期間 (患者側からみたコーディネート行程)



現状の問題点

- ①採取に至ったドナーに要したコーディネート期間と患者が移植を受けるまでに要する日数に大きな違いが発生している行程がある。
- ②ドナー候補者が選定されるまでに、中央値で11名の方に対して、連絡調整業務を行うため、日数を要している。
- ③日本骨髄バンクを介してドナー候補者を選定する際に連絡をする上限は5名となっており、6人目以降に連絡をする場合には、ドナーの辞退者を確認した後に、連絡をするため、連絡を受ける時期がドナー毎に異なっている。

現在のコーディネートの流れ（開始ドナー5名）

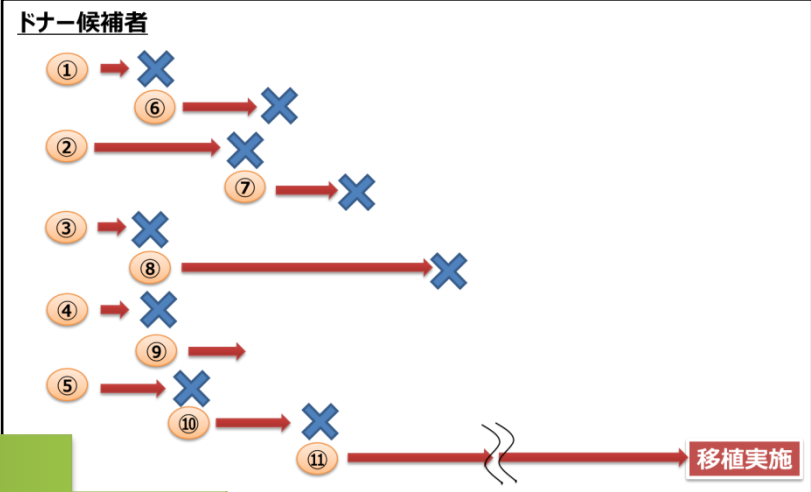


最終同意面談・術前検査・自己血採血 ⇒ 骨髄提供へ

骨髄バンクドナーコーディネート開始人数増加の影響についてのトライアル事業

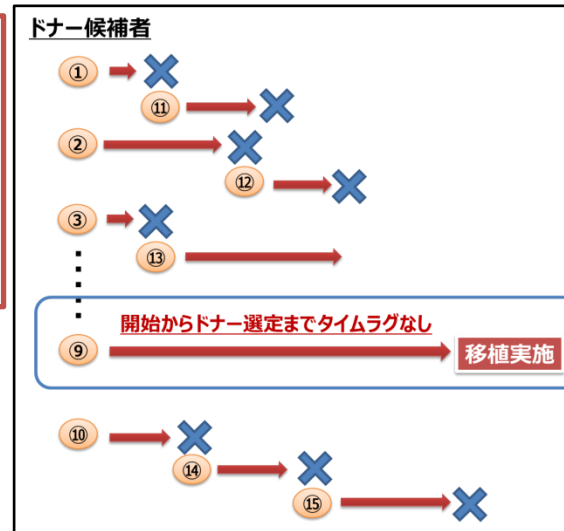
現状

- 現在ドナー選定人数は5名までとなっている。
- しかし、実際には1人のドナーが選定されるまでに、**中央値で11名のドナー候補者が**検索されている。（第37回 厚生科学審議会造血幹細胞移植委員会資料より）
- したがってドナー検索開始から選定までの**タイムラグが生じている**（新たなドナー候補者はまた最初からスタートとなる）。



対策案と期待される効果

- 開始ドナーを10人に増加させることにより、開始から選定まで**中断なく進行するドナー**が得られる確率が高くなりうる。
- ⇒ その結果、タイムラグが少なくなり、コーディネート期間全体の短縮へと結びつくことが期待される。



初回開始ドナーを5⇒10人へ増加させるトライアルを施行することとした。
（骨髄バンクドナーコーディネート開始人数増加の影響についてのトライアル）

開始ドナー増加トライアルについて

【トライアルの目的】

現在課題となっている骨髄バンクを介した非血縁者間同種移植のコーディネート期間の短縮のために、今後開始ドナー人数の増加を全国展開した際、起こりうる運用上の課題や問題点を抽出すること。

【トライアル患者登録時期】

2017年4月1日～5月31日まで

【実施施設】

造血幹細胞移植推進拠点病院（9施設）

国立がん研究センター中央病院（福田班）

【対象患者】

- トライアル施設にてバンク登録を行い移植を行う予定の患者（迅速コースのみ）
- 本トライアルについて説明を受け同意を得た患者
- 主治医がHLA適合検索サービスで検索した時に、HLA8/8アリルフルマッチドナーが45名以上存在することを確認できた患者
（トライアル以外の患者のHLA検索に影響を及ぼさない人数を想定。）